
行 動 概 要

- 8月24日 定刻より15分遅れ13時羽田出発。めったにお目にかかれないステーキにエビス顔。機内にて偶然IMFのサリーン氏にあい、登山隊は通関の時ゴタゴタがおこるので、何かあったらいつでも協力すると言われる。21時(日本時間25日0時30分)ニューデリー着。
- 8月25日 国防省のチャトリッジ氏に会い、隊荷の無税通関依頼状を発行してもらう。
- 8月26日 井口・通訳のサニー通信省に行きトランシーバーの申請書を受取る。大嶽・増子・那須税関に行き無事隊荷の無税通関をする。
- 8月27日 サニーの友人のシック教式開店式典に参加後、数年前までインド政府観光局の仕事で日本にいたバンダリ氏宅で昼食をごちそうになる。トランシーバーの書類記入。
- 8月28日 日本大使館に鈴木氏を訪ね、山の予定を伝え地図のコピーをお願いする。LOのシャルマ氏と面会。午後大嶽・井口トランシーバーの申請。増子・那須砂糖の買い出し。隊荷発送のトラック手配、出発は明日昼、添乗は二名しかできないので、井口・増子の二名が先発と決まる。
- 8月29日 井口・増子ポーター用のタバコ購入と小額紙幣への換金。14時、井口・増子隊荷と共に出発。大嶽のビザが出ないため大嶽・那須デリー滞在。
- 8月30日 LOに会い大嶽のビザの催促を依頼。先発隊、17時30分マナリ着。
- 8月31日 LOより大嶽のビザOKとのメッセージを受取る。
- 9月1日 LOと共に大嶽のビザを受取りに行く、明日のシムラ行バスの予約。
- 9月2日 7時30分、大嶽・那須・LO・サニー、デリー発。17時30分シムラ着。
- 9月3日 観光局長のマハジャン氏宅を訪問。
- 9月4日 8時30分シムラ発、20時マナリ着。先発隊と合流。
- 9月5日 登山学校に行き、LO用装備の借用と挨拶。
- 9月6日 ワンギャルとダルマチャンドウの二名のシェルパを雇い買い出し。マナリ～ティロット間のトラック手続。

- 9月 7日 ワンギャルはトラックに添乗、ダルマチャンドゥはバスにてマナリ出
発。午後LO、クルのローカルポリスに許可の受取りに行く。
- 9月 8日 8時、大嶽・井口・増子・那須・LOバスにてマナリ出発。18時ケロン
着。
- 9月 9日 ポリスオフィスにてラホール・チャンバの9月15日から10月10日までの
許可を受取る。
- 9月10日 9時15分ケロン出発、間もなくバスとすれ違いポニー手配のために戻っ
てきたワンギャルがこちらに乗り移り、彼は少し先で下車。11時30分カ
ムリン着。茶店に宿泊。
- 9月11日 午前中くるはずのポニーが15時やっと到着。出発を明日に延ばす。
- 9月12日 早朝ミュールに荷を付けカムリン出発。ティロット谷最終部落のナンガ
ールより少し先にて幕営。羊二頭とジャガイモの調達。
- 9月13日 エンドモレーン手前標高3980mにBC設営。
- 9月14日 休養日。井口・ダルマチャンドゥ上部の偵察。
- 9月15日 増子・ダルマチャンドゥ、ティーチエ氷河の偵察。
井口・那須・ワンギャル正面氷河の偵察。
仮C1をティーチエ氷河奥の屈曲点に決定。
- 9月16日 大嶽・井口・増子・那須・ワンギャル・ダルマチャドゥの6名にてB
CよりC1への荷上げ。大嶽・増子・ワンギャルはBCへ下る。井口・
那須・ダルマチャンドゥは仮C1泊。上部状態良好のため仮C1を正式
にC1とする。
- 9月17日 大嶽・増子、C1への荷上げ後BCへ下る。井口・那須・ダルマチャ
ンドゥは若干の装備を持ち上部偵察。那須不調のため5000m地点にて待機
5170m地点の岩の上に装備デポ後C1へ帰幕。
- 9月18日 休養日。井口・那須・ダルマチャンドゥはBCへ下る。
- 9月19日 雪のためBCにて停滞。
- 9月20日 大嶽・井口・増子・那須・ワンギャルの5名にてC1への荷上げ。井
口・那須・ワンギャルはBCへ下る。大嶽・増子はC1泊。
- 9月21日 井口・那須・ダルマチャンドゥはC1への荷上げ後BCへ下る。大嶽・
増子はC1より荷上、5000m地点にデポ後C1帰幕。
- 9月22日 井口・那須・ダルマチャンドゥはC1へ荷上げ、C1泊。大嶽・増子は
C1にて休養、二人共顔にむくみ有り。

- 9月23日 大嶽・井口・増子・那須・ダルマチャンドウの5名にてC2へ荷上げ。5220m地点にC2設営後井口・那須C1へ下る。大嶽・増子・ダルマチャンドウは一昨日のデポ回収後C2泊。
- 9月24日 井口・那須C1にて休養、測量を行なう。大嶽・増子・ダルマチャンドウはC2にて休養。
- 9月25日 井口・那須C2への荷上げ後C1へ下る。大嶽・増子・ダルマチャンドウはC2よりティーチェコルへのルート工作。ワンギャルがLOのメッセージを持ってC1へ来る。
- 9月26日 井口・那須C2入。大嶽・増子はC1へ、ダルマチャンドウはBCへ下る。
- 9月27日 大嶽・増子C1にて休養。井口・那須、ティーチェコルより上部のルート工作の予定であったが、那須不調のため引き返す。井口C1へ下る。那須BCへ下る。LO・ワンギャルC1入。LOより登頂放棄の勧告を受け深夜まで態度を協議するも結論出ず。
- 9月28日 那須BCにて休養。ダルマチャンドウC1入。
昨夜の協議を続けファブランへ転進することに決定し、フィックスドロップ及びキャンプの撤収を即時開始する。
井口・増子・ワンギャルC2入。
- 9月29日 井口・増子・ワンギャルにてC2上部のフィックス回収、C2撤収後C1へ下る。
- 9月30日 大嶽・井口・増子・LO・ワンギャル・ダルマチャンドウにてC1撤収後、BCへ下る。
- 10月1日 大嶽・井口・増子・那須・ワンギャルにてC1の装備回収後BCへ下る。ダルマチャンドウはドンキーとポーターの手配のためナンガールへ下る。夕方ダルマチャンドウ・ポーター・ドンキー到着。
- 10月2日 BC撤収後、3名のポーターと13匹のドンキーにてナンガールへ下る。
- 10月3日 井口・増子・ワンギャルと11名のポーターにて、BCへ荷上げ。ダルマチャンドウ、ティロットへ砂糖買い出しに下る。夕方帰着。
- 10月4日 大嶽・那須・LO・ダルマチャンドウと7名のポーターにてBCへ荷上げ。井口・増子・ワンギャル、BCより上部の偵察。
- 10月5日 大嶽・井口・増子・那須・ワンギャル・ダルマチャンドウにてC1へ荷上げ後BCへ下る。

- 10月 6日 大嶽・井口・増子・那須、C1へ荷上げ後C1泊。ワンギャル・ダルマ
チャンドゥ、C1へ荷上後BCへ下る。
- 10月 7日 降雪のため停滞。
- 10月 8日 大嶽・井口・増子、C1より上部の偵察。那須昨日より風邪のため休
養。ワンギャルがLOから「滞在許可の延長の結果が、ナンガール
に着いた頃なので、明日ダルマチャンドゥをナンガールへ手紙を取
りに行かせた後、C1へ結果を知らせる。」という手紙を持ってC1
入。
- 10月 9日 滞在許可待ちのためC1停滞、井口・那須、5150m地点にて測量。
- 10月10日 井口・増子・那須、C2予定地に荷上げ後C1へ下る。大嶽・ワンギャ
ル、滞在期間延長をLOと相談のためBCへ下る。午後、大嶽・LO・
ワンギャル・ダルマチャンドゥ、滞在期間延長OKの知らせを持ちC1
入。
- 10月11日 大嶽・井口・増子・那須・ワンギャル・ダルマチャンドゥ、C2へ荷上
げ、C2入。ダルマチャンドゥC1へ下る。大嶽・井口・増子、上部偵
察を兼ね荷上げ、C2 - C3間にデポ。
- 10月12日 大嶽・井口・増子・那須・ワンギャル、ルート工作及び荷上げ。井口・
増子、C3泊。大嶽・那須・ワンギャル、C3設営後C2へ下る。
- 10月13日 井口・増子、ファブランアタック、14時ファブラン南峰登頂後、20時C
3帰幕。大嶽・那須・ワンギャル、アタック隊の出迎え及び装備荷上げ
のためC3入、大嶽・ワンギャル、シリ・パルバット登頂。ファブラン
アタック隊のC3帰幕が遅くなるため、大嶽・那須・ワンギャル、C2
へ下る。
- 10月14日 井口・増子、C3撤収後下山。大嶽・那須・ワンギャル、アタック隊の
出迎え。合流後C2撤収、C1でLO・ダルマチャンドゥと合流後C1
の撤収後全員BCへ下る。
- 10月15日 BCにて隊荷の整理、パッキング。大嶽・LO、ポーター手配のためナン
ガールへ下る。
- 10月16日 15人のポーターと共にナンガールへ下る。
- 10月17日 12人のポーターと共にテイロットへ下る。昼食後、隊荷は明朝のマナリ
直行バスに乗せて運ぶよう二人のシェルパに頼み、隊員・LO、は下山
報告のためケロンへ。

- 10月18日 バスはクルの祭へ行く人で超満員であったが、軍人が大分前の停留場よりバスに乗り込み、我々の席を確保してくれたので、全員座ったまま夕方マナリ着。
- 10月19日 隊荷の整理。
- 10月20日 } 休養。
- 10月22日 }
- 10月23日 マナリ発。
- 10月24日 早朝ニューデリー着。日本大使館へ挨拶。
- 10月25日 IMFのサリーン氏、チャクラバティ氏へ挨拶。
- 10月27日 隊荷空輸の手続。
- 11月5日 23時羽田着。



ロータンパス手前のマリにて